

通 信 8

「人としての尊厳を取り戻す闘い」を支援する会

第8回口頭弁論：2010年1月27日（水）9時30分から、鳥取地方裁判所

来る1月27日9時30分より、第8回口頭弁論が行われます。本訴訟の最後にして最大の山場、「証人尋問」です！ 証人は計7名ですが、これをすべてこの日一日で尋問しますので、終日の、本訴訟一番の長い法廷となります。

証人尋問

予定の証人と時間をお知らせします。

9:30~10:35	畑 都	（被告明和会／看護師）
10:35~11:35	佐々木俊夫	（原告／橋本の父）
11:35~00:00	長本 優介	（被告医療センター／看護師）
13:00~13:15	田中 美智子	（被告医療センター／看護師）
13:15~14:40	橋本 容子	（原告）
14:40~15:40	渡辺 憲	（被告明和会／明和会代表者・医師）
15:40~16:40	松島 嘉彦	（被告・被告医療センター／医師、）

いよいよ結審か！？

当日、証人尋問が終わると同時に、裁判官は結審を告げるであろうと予想されます。つまり、これまで提訴より1年半に渡って続けられてきたこの裁判も、この日の後は判決の法廷が残るのみです。

訴訟代理人の大田原弁護士は、橋本さんの想いを理解し支え、本訴訟の意義をも十分に認識した上で、困難な訴訟と知りながらも果敢に闘ってこられました。優れた代理人を得た我々は、幸運だったと思っています。

この度の法廷では、その大田原弁護士の活躍を、証人尋問という臨場感あふれる法廷で目の当たりにできるという、大きな期待に胸が膨らみます。

双方弁護士の駆け引き、土壇場の戦略、丁々発止の証人とのやりとり…。証人各人が裁判官に与える心証や如何に？！と、今回の法廷は、何としても見逃せない法廷となるでしょう。

橋本さんは、平成19年1月31日、事件が起きた時、当初は深く傷つき自死すら覚悟しながらも、意を決して闘うことを選び、重い障がいを抱えながらも

今日まで、3年もの時間を生き抜いてきました。橋本さんは言います。「人としての尊厳を打ち砕かれ人でなくなった私には、死ぬか闘うか、その究極の選択しかなかった」と。

その橋本さんも、この日、渾身の力で証人として法廷に立ちます。彼女の胸の内はいかばかりかと思います。

橋本さんの命を懸けた裁判の、勝敗をも決するであろうこの日、一人でも多くの方に、万障繰り合わせて、是非、傍聴においで頂きたいと思います。

原告 橋本容子さんからのメッセージ

この裁判も、いよいよ結審が視野に入るところまで来ました。もちろん、判決はまだですし、勝訴か敗訴か、今はまだわかりません。でも、すでに私は、こみ上げる様々な想いで、感慨ひとしおといった心境なのです。あの酷い事件が起きてからここまでこぎ着けてきた日々を思い、この訴訟をやっていなければ知り得なかったであろう多くの事柄を経験し、貴重な学びを得た自らの心の軌跡が、走馬燈のように胸に去来しております。

1月27日は、本訴訟において一番長い日というのみならず、私が今まで生きてきた中で「一番長い日」となるであろうと思っています。

その「一番長い日」を、これまで支援して下さいた皆様と、感謝を以て共有できたならば、この上もない幸いと思います。

お忙しいとは思いますが、どうぞ、おいでくださいますようお願いします。

その後頂いたカンパのお礼

昨年12月5、6日、東京での「第15回障害者政策研究全国集会」に参加し、分科会で報告をしたことから、日本各地に支援の輪がさらなる広がりを見せています。精神障がいのある人、福祉関係者、マスコミ関係者、弁護士等々。

前回報告（通信7）以降、上記の方々よりカンパを頂いております。ここに掲載して、お礼を申し上げます。ありがとうございました。（敬称略）

犬伏 正好	1.000 円	信平 藍香	1.000 円
木村 朋子	3.000 円	里見 和夫	10.000 円

支援者集会

法廷終了後、大田原弁護士を囲んで、この裁判を総括する意味での、交流会を兼ねた集会を持ちたくと思っています。

時間の許す方は、是非、ご参加ください。

時間：17:30～19:30 頃

会場：福祉文化会館 3 階 会議室

※ 軽食、飲み物を用意しています

「人としての尊厳を取り戻す闘い」を支援する会・呼びかけ人

<代表> 森島 吉美（広島修道大学 教授）

池内 まどか（社会福祉法人一条協会・高知県 事務局長）

岩田 啓靖（曹洞宗：大寧寺・山口県 住職）

内田 博文（九州大学 教授）

宇都宮 富夫（八幡浜市議会 議員）

江嶋 修作（解放社会学研究所 所長）

大久保 陽一（いのちくらしこども中央市民ネットワーク 代表）

金杉 恭子（広島修道大学 教授）

鐘ヶ江 晴彦（専修大学 教授）

川口 泰司（山口県人権啓発センター 事務局長）

佐々木 理信（浄土宗：真明寺・滋賀県 住職）

志村 哲郎（山口県立大学 教授）

露の 新治（落語家）

砥石 信（国連登録 NGO 横浜国際人権センター・信州ブランチ 代表）

富田 多恵子（びわこ南部地域部落解放研究会 副会長）

林 力（福岡県人権研究所 顧問）

福岡 安則（埼玉大学 教授）

山崎 典子（浜田べっぴんの会 代表）

山本 真理（全国「精神病」者集団会員・世界精神医療ユーザーサバイバーネットワーク 理事）

若月 好（精神障害者当事者会「きまぐれの会」・鳥取県 民生児童主任）

亘 明志（長崎ウエスレヤン大学 教授）

<連絡先> 森島吉美 〒733-0874 広島市西区古江西町 20-18-507

Tel/Fax: 082-273-3469 E-mail: morisima@orange.ocn.ne.jp